

目的

平成 23 年度に、厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」の委託を受けて協議会を設立、活動してきた。

- ・多職種連携の課題に対する解決策の抽出
- ・在宅医療従事者の負担軽減の支援
- ・効率的な医療提供のための多職種連携
- ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発
- ・在宅医療に従事する人材育成

4年目となる平成26年度は新たに厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」に取り組んだ。

協議会役員・事務局

- ◆ 会長 中島 茂夫(西岡病院 院長)
- ◆ 副会長 松本 修二(松本内科クリニック 院長)
五十嵐 知文(西岡病院 副院長)
寺本 信(西岡水源池通りクリニック 院長)
- ◆ 事務局 岡村 紀宏(西岡病院 地域連携室)
川村 爲美(西岡病院 地域連携室)

活動内容

1. 合同会議の開催

今年度 4 回の合同会議を行なった。

第 1 回(H26.5.26、出席者 88)

- ・症例検討会「看取り過程について」
- ・講演「救急搬送と在宅療養患者の尊厳について」
緑の街診療所 院長 鈴木 研一 先生

第 2 回(H26.8.25、出席者 89 名)

- ・講演「意思決定支援と多職種連携について」
ごう在宅クリニック 院長 中嶋 豪 先生
- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」の説明

副会長 五十嵐 知文

第 3 回 (H26.11.17、出席者 41 名)

- ・「終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインについて」
副会長 五十嵐 知文
- ・グループワーク「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」

第 4 回(H27.3.23、出席者 63 名)

- ・「とよひら・りんくの平成 26 年度の活動について」
会長 中島 茂夫 (西岡病院 院長)

- ・「地域包括支援センターの活動と地域連携における課題について」

札幌市豊平区第 3 地域包括支援センター

千田 晃禎 所長

- ・「看取り実践までの過程と新たな課題について」

シルバーハイツ羊ヶ丘1.2番館

川中 誉代 施設長

佐藤 早智子 ケア課長



▲合同会議の様子

2. 研修の実施

- ◆ 感染症研修会(H26.10.27、出席者 40 名)

- ・講義「感染症への対応」 西岡病院 内科医長 澤田 格
- ・実技、フィットテスト
- ・グループワーク「感染症対策の課題」

- ◆ 倫理研修会(H27.1.26、出席者 70 名)

- ・講義「医療・介護における意思決定への支援—法の知識」
札幌総合法律事務所 弁護士 福田 直之 先生
- ・事例検討

3. 講演活動

- ◆ 「平成 26 年度多職種による在宅医療連携推進研修会」

H26.8.23 千歳市保健所

講師 副会長 五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

- ◆ シンポジウム「在宅医療の今後を考える」

H26.9.14 保団連医療研究フォーラム

副会長 五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

◆ シンポジウム「人生の最終段階における医療体制整備事業」

H26.11.23. 第9回医療の質・安全学会

事務局 岡村 紀宏(西岡病院 事務部医療福祉課)

◆ 情報提供「人生の最終段階における医療体制整備事業」

H27.1.16 札幌市老人福祉施設協議会施設長会議

事務局 岡村 紀宏(西岡病院 事務部医療福祉課)

◆ 講演「とよひら・りんくの活動について」

H27.1.23 盛岡市医療介護連携推進研修会

事務局 岡村 紀宏(西岡病院 事務部医療福祉課)

4. 視察対応

- ・H26.9.12 稲次整形外科病院(徳島県)
－厚生労働省人生の最終段階における
医療体制整備事業採択機関
- ・H26.12.19 太平洋記念みなみ病院(釧路市)

5. 取材対応

- ・アステラス製薬情報誌
- ・武田薬品情報誌「PCP」